

第2回 横浜市戸塚区地域ケアプラザ指定管理者選定委員会（追加開催）

議事録

日 時	令和7年5月13日（火） 午後3時から午後4時5分まで
開 催 場 所	戸塚区役所9階特別会議室
出 席 者	【選定委員会委員】 委員長 西尾 敦史（愛知東邦大学 人間健康学部 人間健康学科 教授） 委員 落合 清子（戸塚区保健活動推進員会 元会長） 木村 サチ子（踊場地区民生委員児童委員協議会 元会長） 中嶋 伴子（とつか区民活動センター 元センター長） 福本 雅美（戸塚区地域子育て支援拠点ととの芽 施設長） 本庄 里実（東京地方税理士会戸塚支部 会員） 【事務局】 戸塚区福祉保健センター長 緑川 斉 戸塚区福祉保健課長 尾崎 太郎 戸塚区福祉保健課事業企画担当係長 平野 亜由子 戸塚区福祉保健課事業企画担当 平野 明日香、前原 淳史、栗岡 愛
欠 席 者	あり（中瀬 明德（東戸塚地域活動ホームひかり 施設長））
開 催 形 態	一部非公開（応募団体の面接審査、指定管理者の候補者（以下、「指定候補者」という。）及び指定候補者を指定管理者として指定できない場合に指定候補者に代わって指定候補者となる者（以下「次点候補者」という。）の選定に関する審議について非公開。なお応募団体の面接及び質疑応答は、他の応募団体に情報が漏れないことを確認したうえで公開）（傍聴者0人）
議 題	1 事前確認事項 2 応募団体の面接審査 （1）応募団体の面接審査 （2）本市重要政策を踏まえた応募団体の取組状況、財務状況評価の説明 3 指定候補者及び次点候補者の選定、講評
決 定 事 項	指定管理者の候補者及び次点候補者として、次のとおり、横浜市戸塚区長に報告することとする。 横浜市上矢部地域ケアプラザの指定候補者及び次点候補者 指定候補者：社会福祉法人 朋光会 次点候補者：なし

議 事	1 事前確認事項 事務局から、公募の結果、本会で審査する横浜市上矢部地域ケアプラザについては1団体から応募書類の提出があった旨を報告するとともに、次の3点について確認した。 ○委員会の公開・非公開 応募団体審査、指定候補者及び次点候補者の選定に関する審議について非公開とすることを確認。（第1回委員会（追加開催）で審議済み） ※なお、応募団体の面接（プレゼンテーション及びヒアリング）は、面接審査を受けている団体以外の応募団体を除き公開。 ○面接審査の進め方及び質問項目の確認（事務局） ・面接審査の全体の流れ、質疑応答の流れ、最終審査の流れについて説明。 ・1施設に対して1団体のみの応募となっている施設については、最低制限基準に満たない場合は、再選定を行う旨を再確認した。 ○応募団体の資格要件等について（事務局） ・資格要件を満たすこと、欠格事項に該当しないことを報告。 ・欠格事項のうち、「暴力団又は暴力団経営支配人等ではないこと」に関して、神奈川県警に照会した結果、該当しないとの回答を受けた旨や市税納付状況等の確認を行った結果、資格要件を満たしている旨を報告。 2 応募団体の面接審査（横浜市上矢部地域ケアプラザ分） (1) 面接審査 横浜市上矢部地域ケアプラザ ア プレゼンテーション 団体から、団体の概要、事業計画等について説明 イ 主な質疑応答 （委員）上矢部地域ケアプラザの現在の取組を継承するやり方やイメージを聞きたい。 （団体）まず地域の特性等をさまざまな人とコミュニケーションをとることで把握する。そしてニーズに応じた研修講座等を企画する。またキーパーソンが誰かも把握し、ボランティア活動等に引き込んでいきたいと考えている。
-----	--

	(委員) 高齢者が多い地域なので、担い手が枯渇しないように人材発掘・育成も行ってもらいたい。事例検討会にも期待している。 (団体) いろんな地域の集まりに足を運び関係性を築き、情報を収集し、ニーズに応じた講座を開いていきたい。また事例検討会についても継承していく。 (委員) 講座を開きたいとの発言があったが、高齢者向けの講座へのアクセスについてはどう考えているのか。上矢部地域ケアプラザ周辺は山坂が多い地域であり、地域ケアプラザから遠い場所に住んでいる人もあるので、ぜひ工夫してもらいたい。 (団体) 職員が地域に出向いていき、町内会館などの場所を活用して講座を開催するというような、いわゆる「出前型」の講座も積極的に企画していきたいと考えている。 (委員) 防災ボランティアについて、地域の方との関わり方の理想や想定は。「防災」は地域の方の関心も高い分野なので、様々な人や団体と連携できるとよい。 (団体) 日頃からの関係性が重要だと思っているので、災害があったときに手伝ってもらえるような関係性を地域の方と築いていきたい。 (委員) 既に3か所の地域ケアプラザを運営されているが、今回さらにもう1施設、地域ケアプラザの指定管理者に応募いただいた。専門職の配置について、人材育成の場として活用できると考えているのか、それとも人員が足りずに不安を抱えているのか。 (団体) 人材確保の面については、正直不安に思っている。ただそのような不安感があっても、何とか地域住民を支えていきたいという一心で今回申請をした。まだ指定期間が始まるまで時間があるので、法人内でアイデアを出し合い、よりよい方法を考え、人材育成・募集に努めていきたい。そして地域住民の方に不安を抱かせないようにしていく。 (2) 本市重要政策を踏まえた応募団体の取組状況、財務状況評価の説明 事務局から本市重要政策を踏まえた応募団体の取組状況について説明。 本庄委員から財務分析結果報告書について説明。
--	--

3 横浜市上矢部地域ケアプラザ指定候補者及び次点候補者の選定、講評

応募団体から提出された応募書類及び面接審査等をもとに評価を行い、各委員の評価結果を集計する。

- ・横浜市上矢部地域ケアプラザ

	応募団体	評価得点／満点	最低制限基準 得点／基準点
指定候補者	社会福祉法人 朋光会	940 点／1,320 点	916 点／732 点
次点候補者	なし	-	-

(審査講評)・職員配置がきちんと行えるのかどうか少し不安は残る。ただ計画はよく練られているので、職員配置や地域との関係づくり等の面も含めて今後に期待したい。

- ・合築施設としての良さを出していってもらいたい。例えば、合築だといろんな情報が入ってくるだろうし、分野を超えて様々な協力ができるという面もある。

- ・前運営団体の実績をどのように引き継いでいくのか興味がある。上矢部地域ケアプラザの現職員は熱量をもって仕事をしているので、ぜひそれが途切れないようにしてもらいたい。

- ・多数の施設を運営しており、様々なノウハウも豊富にある団体なので、ぜひそれを上矢部地域ケアプラザの運営にも活かしてってもらいたい。

- ・家から地域ケアプラザが遠いとなかなか情報が入ってこない。地域ケアプラザの周知活動も積極的に行ってってもらいたい。

応募団体の得点は、最低制限基準の 60%以上であるため、選定委員会として社会福祉法人朋光会を指定候補者として選定することを決定する。

1 資料

- (1) 面接審査について (資料1)
- (2) 各種照会結果について (資料2 及び資料3)
- (3) 各施設への応募関係書類 (一式)
- (4) 採点表 (一式)

2 特記事項

特になし

資 料
・
特 記 事 項